

IT資産管理サーバ Version 7.3.5i

○Version7.3.4i からの変更点

●仕様変更

- 1.レジストリインベントリの最大件数変更しました。
- 2.外部デバイス制御の承認済み外部デバイス登録上限数を変更しました。
- 3.表示項目の設定数上限を変更しました。

●不具合修正

- 1.新しい Unifier Cast のモジュールを利用しても Windows 11 の FU が適用できない問題を修正しました。
- 2.QS エージェントのインストーラーが誤った形式でダウンロードされてしまう問題を修正しました。
- 3.[セキュリティ]→[ふるまい検知]の[ふるまい検知]の英語表記が間違っている問題を修正しました。
- 4.QUALITY SUITE 連携時にグループ情報が同期できない問題を修正しました。
- 5.Windows 10 / 11 アップデート支援機能で Windows 11 の QU が適用できない問題を修正しました。
- 6.基本ポリシー／個別ポリシーの [OS] アイコンのツールチップを修正しました。
- 7.特定ログ種別のみで表示される列情報をピン留めした状態でそのログ種別を非表示にして検索すると、強制的にログオフされる問題を修正しました。
- 8.関連顧客機能の「セキュリティ脆弱性診断」でエラーが表示される問題を修正しました。
- 9.運用設定> 組織設定> ハードウェア設定画面で初回登録中の端末情報が表示される問題を修正しました。
- 10.QS エージェントモジュールの自動更新対応を修正しました。
- 11.個別ポリシーで設定した外部デバイス制御設定が端末に反映されない場合がある特定の操作をした際、基本ポリシーの設定を「連動しない」にしている場合でも、基本ポリシー設定が参照されている問題を修正しました。
- 12.ユーザーコンソールクライアントで入力した利用者情報をユーザーコンソールから編集すると強制ログアウトが起きる就業時間管理が有効になっている場合に発生する問題を修正しました。
- 13.ユーザーコンソールハードウェア設定で表示されているクライアントに割り当てられているポリシー名が間違っている場合がある表示上の不具合を修正しました。
- 14.LogAnalytics に収集除外するプロセス名の設定が正しく同期されていない問題を修正しました。
- 15.ファイル操作トレースが正しく動作していない問題を修正しました。

16. Mac 非対応の QUALiTY SUITE 製品のみを契約した場合でも Mac クライアントに対して QS エージェントが配布されてしまう問題を修正しました。
17. 表示項目設定の登録画面にて特定の動作をした際に強制ログアウトされる問題を修正しました。
18. FDE : ディスク暗号エージェントアップデートプログラムを追加提供ファイルとしてアップロードできない問題を修正しました。
19. QSS 連携でのエラー表示が適切ではない問題を修正しました。
20. クライアントからのハードウェア管理情報収集によって登録された利用者で、タイムゾーンが空欄で表示される場合がある問題を修正しました。